

2017年5月31日

「攻めのIT経営銘柄2017」に選定

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、企業価値の向上や競争力強化のためにITを積極的に活用している企業として、5月31日に経済産業省および東京証券取引所から、「攻めのIT経営銘柄2017」に選定されました。

1. 「攻めのIT経営銘柄2017」について

経済産業省と東京証券取引所が共同で、東京証券取引所の上場会社の中から、中長期的な企業経営の視点で、企業価値の向上や競争力の強化に結びつく戦略的な「攻め」のIT投資を実践している企業を選定・公表しています。

（参考）

- ・経済産業省：「攻めのIT経営銘柄2017」選定企業31社を発表
<http://www.meti.go.jp/press/2017/05/20170531007/20170531007.htm>
- ・東京証券取引所：「攻めのIT経営銘柄2017」の公表について
<http://www.jpx.co.jp/news/1120/20170531-01.html>



2. SOMPOホールディングスの取組み

SOMPOホールディングスは、中期経営計画において、グループの経営理念である「お客様の安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」の具現化に向けて、先進的なデジタル技術の活用によりグループ横断で取り組むデジタル戦略を推進することを掲げています。2016年4月に東京とシリコンバレーにSOMPO Digital Labを設置し、デジタル戦略における重要テーマの研究・開発体制を構築し、デジタル技術を活用したお客様接点の構築やデジタルネイティブ向けのマーケティング等、これまでにないビジネスモデルの研究・開発を行っています。また、デジタル戦略を迅速に実行していくためにCDO（チーフデジタルオフィサー）を設置し、シリコンバレーで経営経験のある人材を外部から招聘するなど積極的に経営資源を投入しています。

※取組み事例の概要は別紙をご参照ください。

3. 今後について

SOMPOホールディングスは、指数関数的に進化するデジタル技術の活用を、グループの事業において集中的かつ飛躍的に進めることを目指して、引き続きデジタル戦略の推進に取り組んでいきます。

以上

【別紙】取組み事例の概要

1. 事故や病気の予防に役立つ予測アルゴリズムの開発

これまでの保険は、事故に遭われたり病気になられたお客さまに対して、保険金をお支払いする商品でした。しかし、お客さまが本当に求めているのは、事故を起こさないことや病気にならないことです。SOMPOホールディングスでは、お客さまのスマートフォンやIoTデバイスから得られるビッグデータを解析し、運転特性と事故、生活習慣と病気の相関関係を分析することで、事故や病気のリスクを予測するアルゴリズムの開発に取り組んでいます。これにより、保険金のお支払いだけに留まらず、保険事業の枠を超えて事故や病気を予防するサービスを提供し、お客さまの人生に笑顔をもたらす「安心・安全・健康のテーマパーク」に進化していきます。

【安全運転ナビゲートアプリ『ポータブルスマイリングロード』】



2. デジタルを活用したこれまでにない介護事業モデルの創造

SOMPOホールディングスは、「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」という経営理念に基づき、介護事業に参入しました。介護事業には「オペレーションの標準化が困難」「機械化・情報化が進まない」「慢性的な人手不足」といった業界共通の課題があります。

SOMPOホールディングスでは、デザインシンキングの手法で利用者や介護スタッフの最適なユーザーエクスペリエンスを設計し、それを実現する手段としてデジタル技術を活かしたソリューションを採用することで、介護サービスの品質維持と生産性向上の両立を実現し、利用者と介護スタッフの笑顔があふれるこれまでにない介護事業モデルを創造します。

【介護施設への排尿センサーの導入】



以上